

人物じんぶつのようすや気もちに気をつけて読もう

「名前を見てちょうだい」 あまん きみこ作
めあて

人物の気もちがあらわれるように、音読げきをしよう。

はっぴようをするじゅんばん

- 1 ①②グループ
- 2 ③④グループ
- 3 ⑤⑥グループ

はっぴようがおわったら

○聞き手グループ

・はっぴようを聞きおわったら、はっぴようグループに、よかつたところをほめほめカードに書いてわたす。

○はっぴようグループ

・まず、グループでふりかえる。
・ほめほめカードをさんこうに、自分のめあてができたか、ふりかえる。

ーねんせいへ

○「おんどくをきいて、えっちゃんたちのきもちがわかりましたか。」にきをつけてみたりきいたりしてください。

よかつたところを、ほめほめカードにかいてください。

【12・13・14 / 15 時間目 指導略案】 使用するワークシート ふりかえりシート
活動のねらい

物語のおもしろさが伝わるように、人物の気持ちを考えながら、音読劇をすることができるようになる。

1 本時のめあてを確認する。

○ 音読劇をする目的を確認する。

※ 教材文全体を音読劇にします。三時間のうち、練習時間を一時間、発表を二時間にすることもできます。そのときは、一時間に三グループ発表します。

2 発表の仕方、聞き方の視点を知る。(12時目のみ)

○ 発表者に発表後の振り返りを、聞き手にはほめほめカードの使い方を指示する。

※ ほめほめカードとして、広めの付箋紙を使用するといいでしよう。

○ 演じた誰もがほめほめカードをもらえるように配慮する。

○ 一年生にも視点を伝え、ほめほめカードの記入をお願いする。

※ どの時間に見てもらおうか、事前に一年生の担任の先生と相談が必要です。

3 発表会を行う。

○ 発表の後は、ふりかえりシートを使って、グループの気付きとほめほめカードの

記述内容を参考に、自己評価を書かせておく。

※ 発表前に、自分の名前と役割を紹介させてもよい。

○ 次時に、全体で学習を振り返るときのために、ビデオに録画しておく。

評価 登場人物になりきって工夫して音読している。

お互いの音読のよさを見付けて伝えている。

句読点に気をつけて、平仮名や片仮名、漢字を声に出して読んでいる。

(ウ1)

4 発表会を振り返り、次時の学習内容を知る。

○ 一年生からのほめほめカードの内容を紹介し、達成感を味わわせる。

○ 次時は、単元全体を振り返ることを伝える。